

100年の物差しで測る日本

～重要文化財で学ぶ日仏今昔物語～

日本画家 山元春拳の別邸 蘆花浅水荘（国・重要文化財）に時のフランス大使ポール・クローテルが訪れてから約100年。この度クローテル研究家であるミッシェル・ワッセルマン先生をお招きし、講演・座談会を開催致します。フランス人の目から見た往時の日本や春拳に思いを馳せてみませんか。

日時：平成31年3月3日（日）
午後2時～4時

場所：重要文化財 蘆花浅水荘 書院
ろかせんすいそう
大津市中庄 1-19-23（地図裏面参照）

講師：立命館大学国際関係学部 特任教授
ミッシェル・ワッセルマン

参加費：800円

当日のスケジュール

13:30 受付

14:00 開会

14:10 講演

ミッシェル・ワッセルマン先生

「ポール・クローテルと日本、京都、そして山元春拳」

14:50 休憩

15:00 講師、当主を囲んでの座談会

15:30 邸内散策

MICHEL WASSERMAN ミッシェル・ワッセルマン先生



パリに生まれる。
フランス文学高等教育教授資格及びパリ
第三大学東洋学博士号を持つ。
1986年～1994年関西日仏学館
（京都）の館長を務める。
在任中「関西日仏交流会館」
（Villa Kujoyama, アーティスト・イン・レジデンス）と
「京都フランス音楽アカデミー」の設立
に携わる。

また、オペラの演出を行っており、
1984年にはジロー賞を授賞。
2003年より京都オペラ協会総監督。
「詩人大使」ポール・クローテルなどに
ついての伝説の著書多数。
邦訳に『ベアテ・シロタと日本国憲法』
（共著、岩波書店）がある。1994年
より立命館大学国際関係学部教授、
2014年より同特任教授。

※参加ご希望の方は下記申し込み先までご連絡下さい。（2月20日まで 先着50名）

※小学生以下のお子様のお邸は文化財保護の観点からご遠慮頂いております。

申込先 企画舎 羅針盤
TEL/FAX 077-533-1941
E-mail info@rashinban.main.jp

主催 企画舎 羅針盤
大津市平津一丁目 21-30

この催しは「平成30年度大津市協働提案制度テーマ型事業」の一環としてとして運営しています。

画伯が残した遺言を今に生かし未来に繋ぐ事業

企画舎 羅針盤

滋賀県大津市、膳所（ぜぜ）という小さな城下町の琵琶湖のほとりにおもむきのある数寄屋づくりのお屋敷がビルに挟まれひっそりと佇んでいます。「蘆花浅水荘」と名付けられたこの建物は明治中期から昭和初期にかけて名を馳せた京都画壇の重鎮、帝室技芸員山元春拳画伯の別邸であり、画伯自らが設計、監修した見事な大正建築（国指定重要文化財）です。

私達は郷土の巨匠が残したこの貴重な文化遺産を守り続けるには本建物の積極的な活用且つ運営が必要と考えます。

画伯は晩年（昭和6年）膳所町制施行三十年記念史に本別邸を「美術工芸家その他の人々の集会場に開放し云々」と日本文化発展に寄与する旨の文言を残しています。

この言葉を画伯の遺言ととらえ、蘆花浅水荘を日本文化の発信基地と位置付けるとともに私達が現在抱えている日本文化衰退の危機を抑制し、次世代に向けた活路を見い出していく所存です。

本計画には画伯の孫にあたる山元寛昭氏の積極的な賛同を頂くとともに、地域住民、市民団体、研究機関、行政等の協力による協働作業を進めてまいります。先人の遺産である史跡は残そうという意志があって初めて次の時代に伝えることができます。

ここには私達が暮らす日本という国の昔と今が同じ時を過ごしています。



蘆花浅水荘

大津市中庄 1-19-23

TEL077-522-2183

企画舎 羅針盤

大津市平津 1-21-30

TEL077-533-1941